



野津保

札幌市立上野幌中学校
学校だより第6号
令和8年9月30日

★★いじめ等に関わる無記名アンケートの結果と、学校の今後の取組について★★

夏休み明けに全校生徒を対象とした「いじめ等に関わる無記名アンケート」を実施いたしました。記名式のアンケートでは、本音を書きづらく感じるお子様もいます。そのため今回は、より実態を把握しやすい無記名方式を採用いたしました。

9月に開催した校内の「いじめ防止対策委員会」にて集計結果を検証しました。（「いじめ防止対策委員会」は毎月1回定期的に開催）その検証を受けて、教職員全体で現状について共有いたしました。現状として、本校におきましても、「いじめ・いじり」にあたる行為が存在することを確認しております。また、校内にとどまらず、登下校中や塾、SNS上など学校の外でもつらい思いをしている生徒がいます。特に、「大人に相談してもどうせ解決してくれない」「相談すること自体が難しい」と感じている生徒が一定数いるという事実についても見過ごせません。日頃から教職員が生徒に寄り添い、声かけやサポートに努めておりますが、悩みを抱え込みやすい生徒にとっては、さらに相談しやすくなるための工夫が必要であったと感じております。今後は、問題発生後の対応はもちろんのこと、「いじめを起こさせない環境づくり（未然防止）」と「相談できる環境整備」に注力してまいります。

①これまで以上の日頃の「かかわり」の強化（未然防止）

普段から教員が生徒と築いてきた信頼関係をベースに、休み時間や放課後、部活動などでの日常的な会話をさらに大切にしていきます。生徒一人一人の「小さな表情の変化やサイン」を学校全体で見逃さないよう、これまで以上に目配り・気配りを徹底してまいります。

②「いつでも寄り添い、話を聞く」相談環境のさらなる強化

日頃より教職員は「いつでも味方であり、寄り添って話を聞く」姿勢で生徒と向き合っておりますが、こうした関わりを学校全体でさらに深めてまいります。生徒が圧迫感を感じず、どんな小さな悩みでも安心して打ち明けられる雰囲気づくりに引き続き努めてまいります。また、教員との一対一で対話できる時間の拡充をはじめ、スクールカウンセラーとの面談や外部の専門相談機関の紹介など、生徒が自分に合った形やタイミングで気持ちを表現できる選択肢を一層整えてまいります。

③ 組織的な早期解決

生徒からSOSがあった場合に教員一人で抱え込まず、チームとしての「いじめ防止対策委員会」（学年・生徒指導部・管理職等）が中心となり、事実確認と迅速な対応を行います。「相談したら状況がよい方向に変わった」という安心感を積み重ねてまいります。いじめの未然防止・早期発見には、学校とご家庭の連携が不可欠です。ご家庭におかれましては、特別なことをしていただく必要はございません。もし以下のような「いつもと違うサイン」にお気づきの際は、どんな小さなことでも構いませんので学校へお知らせいただけますと幸いです。

○急に食欲が落ちた



- 朝、体調不良を訴えることが増えた
- スマホを見ながら暗い表情をしている
- 以前より会話が減った

お子様が安心して学校生活を送れるよう、全力を尽くしてまいります。今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

☆☆仲間とともに創り上げる「秋華祭」☆☆

校内では、秋華祭に向けた準備が本格的に始まりました。教室や特別教室では展示物の制作、ステージ発表の練習や学年合唱の響き渡る歌声が聞こえてきます。一生懸命に取り組む子どもたちの姿によって、学校全体が活気に満ちています。



先行きが見通しにくいと言われる今の時代、子どもたちに求められる力も変わりつつあります。これからの社会を生き抜く子どもたちにとって大切なのは、ただ教科書から知識を得るだけでなく、直面した課題に対して自ら問いを立て、多様な人と協力しながら解決へ向かう力です。秋華祭という行事は、日頃の学習成果を発表することにとどまらず、総合的な学習の時間や各教科で深めた学びを土台にしながら、仲間と同じ目標に向かって励まし合い、新しい考えやアイディアに挑戦し、自分たちの手で創り上げていく貴重な機会となっています。

集団で一つの目標に向かって突き進むとき、すべてがスムーズに進むわけではありません。時には意見の違いから話し合いが進まなかったり、制作や練習の過程で思うようにいかず壁にぶつかったりすることもあります。しかし、そうした困難に直面した時こそ、子どもたちの成長のチャンスとなります。お互いの考えや思いを尊重しながら対話を重ね、納得のいく解決策を見出すことで、子どもたちは個の集まりから「チーム」へ変わっていきます。人との関わりの中で葛藤し、それを乗り越えた経験は、将来大人になって社会に出た時、どんな環境でも周囲と信頼関係を築き、力を合わせて仕事や課題に取り組むための「一生ものの人間力」へつながっていきます。

また、秋華祭の準備活動において何より大切にしているのは、失敗を恐れずにチャレンジすることと、互いを承認し合う温かい学校文化づくりです。最初は自信がなさそうだった生徒が仲間に励まされながら自分の役割をやり遂げた時、子どもたちの表情は達成感と自信に満ちています。こうした「自分にもできる」「仲間と一緒になら乗り越えられる」という気持ちが、これから未来を生きていく原動力になると確信しています。

工夫を凝らした展示物、ステージ発表や美しい合唱の響きなど、当日の完成度はもちろん楽しみですが、大切なのは、当日に向けて仲間と支え合い、悩み、笑いながら歩いていく「準備のプロセス（道のり）」です。毎日の試行錯誤の中に、一人一人の人間的な成長のドラマがあります。保護者の皆様



におかれましても、ご家庭でも「今日の準備はどうだった？」「どんな役割を担当しているの？」とお子様との会話のきっかけにいただければ幸いです。悩んでいる時には温かく耳を傾け、挑戦している姿を力強く後押ししていただけますと嬉しく思います。子どもたちが仲間と共に創り上げる秋華祭本番をどうぞお楽しみください。

